



## 自分を越えた眼を Look Beyond Yourself

ラジェンドラ・K. サブ  
1991~1992年度 R I 会長

### 1991. 7. 9 (金) 第183回例会

1. 点 鐘
2. ロータリーソング「我等の生業」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食 事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 会員卓話 (岩切 正司君)
9. 点 鐘

### 第182回例会記録 (平成 3. 7. 12)

#### 会長の時間

濱田 松太郎

約1ヶ月以上に亘り降り続いた梅雨も、去る7月9日に梅雨明け宣言があり、この処30℃以上の暑い日が続いています。この暑さのために、ヒトは勿論のこと、動物たちにとっても、例えば乳牛では泌乳量の著しい減少とか、養鶏では産卵率の著しい低下などのほか、吸血昆虫の発生に伴い犬のフラリア症発生の引金になるなどの影響が及んでいます。また、牛におけるアカバネ病(妊娠母体の流産、寄形牛の出産)の発生や、豚における日本脳炎の発生によりヒトにも感染するという危ない病気の発生の原因となっています。

昨年のような酷暑が続きますと、(地球温暖化の現象ともいわれているが)、家畜家禽類の死亡がことのほか異常数値を示すことは、まだ私達関係者には記憶に生々しいものがあります。

地球温暖化は環境保全と関係があり、ロータリアンとして何か貢献可能なかの研究の要があります。身近なことですが、食事に使う割箸を世界のロータリアンが節約するならば、年間に約相当数の樹木を伐採しなくてすむのではないのでしょうか。スリランカの水害なども、やはり乱伐、開拓のなせる業といわれております。

今年も昨年同様に酷暑が訪れるであろうことは予想されますので、皆様は夏バテには十分ご留意されるようお願いしております。

さて、ロータリーについて一言申し上げます。ロータリーの原点はクラブ奉仕にあるといわれています。

- (1) 会員が規則正しく例会に出席すること。
- (2) 新会員を推薦すると共に、クラブの親睦と理解を深めること。
- (3) 各種のプログラムに参加すること。

以上のことを踏まえて、特に親睦の輪が広がることによって社会奉仕が生まれ、国際奉仕の拡大につながるといわれています。

ロータリーの創始者ポール・ハリスは、この奉仕の理想について次のように述べています。

「奉仕の理想を標榜する者は、受けるべき物質ではなく、先ず与えるべき奉仕に着眼すべきであって、物質を眼前の近くに置けば見通しは困難になる。そして、その最も愚かなことは金銭に集中することである」と。

孔子は、「汝の欲せざるところを他人に施す勿れ。」と説いています。また、イエスは「汝他人より与えられんと欲するすべてを他人に与

えよ。」と言っておられます。多くの専門職業に従う者の奉仕が、その注文に対して引き合わないことがある時、例えば弁護士は法廷において要求に応じて、無一文の囚人のためにも弁護の労をとらなければならない。医師は支払能力のない患者のために若干の時間を提供せねばならない。そして、宗教の伝統は富貴と貧賤の差別を禁止しており、その他の職業も等しくそれぞれの義務を負うものである、といわれます。次に、井上ガバナーより、決議23-34についてのRI理事会の報告として書簡が届いています。この決議は現代の社会にマッチしないので廃止すべきであるとの意見に対し、日本ロータリーとしては絶対に廃止してはならないと考えている。付帯決議と共に新声明10項目を挙げて、来年のアナハイム規程審議会に、存続するよう提案する予定であるとの内容です。

幹事報告 鈴木正敏  
本日は例会変更通知など来ておりません。

出席報告 委員長 神宮寺 利夫  
会 員 数 16名  
HC出席者数 14名  
欠 席 者 数 2名  
出 席 率 87.5%  
欠 席 者 井下・猿渡

ビ ジ タ ー  
西都RC 久留主 敬 蔵君  
" 阿 万 英 也君

私達でつくっている組合でゴルフコンペが、あり参加しましたが、スコアが153点で最下位から3番目でした。日頃の運動不足と脚が弱ったなということをつくづく感じました。これからは足腰を鍛えて、何でも挑戦していこうと思っています。

親睦私議会より 委員長 斉藤 数馬  
例会無欠席会員表彰・ビジター表彰を手配中です。7月26日の夜間例会後、前年役員・理事の慰労を兼ねた懇談会を計画しています。会場は神宮寺ホテルにお願いしたいと考えますので、よろしく願いいたします。

議  
会裏より 藤堂 孝一

本年度のRI人頭分担金・地区関係・米山関係・雲仙岳救援金をそれぞれの機関に送金しましたので報告いたします。

会員卓話 副会長 児玉 武文

本年度の副会長に選任されましたので、会長をしっかりサポートしながら協力していきたいと思っています。実は、今日宮崎市の江南病院でCT検査をしてもらい(結果は異常なし)、帰佐したところで、佐土原駅の売店でパンと牛乳の軽食をとりました。久振りに駅の乗客の様子を眺めていますと、前に卓話で申し上げましたが、私が学生の頃この駅から父母が兵六餅とボンタン餅を持たせて私を見送ってくれた情景を思い出しました。また、小学校2年生の時にこの駅から日置の浜へ海水浴に行った懐かしい思い出もよみがえってきました。滞途長いですで休憩したものが、今ではプラスチック製になり、駅の時刻表、旅行案内のパンフレット、料金表、自動販売機等も昔に比べて大分変わったなど感じました。人と人のふれあいから、そのほか何もかもが自動化され、一体文明とはどんなものかと考えさせられます。

最近の新聞を見ていると、株式証券汚職で大蔵大臣以下証券会社社長の処罰など、わが国のバブル経済下におけるツケが回ってきたなど感じております。今朝ラジオを聴いておりまして、自国を守るために戦うかとのアンケートに対して、米国・韓国・ドイツ国などでは75%~80%が国のために戦うと答えていますが、日本では僅か20%しか戦うとの意志表示はありませんでした。平和に対する日本国民のとらえ方は、みんなと仲良くすればよいと考えているが、国際関係における日本の平和への貢献はどうあるべきなのか、自国に対する国防の意識の問題等、国民の合意と理解を要する重要な点が放置されたままになっていると思います。

(以下次号へ)